

令和7年7月17日

▼タイトル

着弾不明となっていた155mm榴弾砲弾の発見にかかる市長コメント

饗庭野演習場で2月3日に発生した155mm榴弾砲の射撃訓練中に発射された1発の着弾が不明となっていた事案について、陸上自衛隊中部方面総監部は、演習場内で金属片を発見し、この金属片が当該不明弾の破片であると特定し、公表されました。

当該不明弾は演習場内での着弾が確認されたものの、今回が5度目の憂慮すべき事案であり、自衛隊に対する市民の信頼を揺るがす重大な事案として重く受け止めていただき、速やかに本事案の徹底した原因究明および具体的かつ実効性のある再発防止策を示されるよう、防衛省各所に対し改めて強く要請します。

▼問い合わせ先

- 所 属：企画広報課 大森、鈴木
- 電話番号：0740（25）8130
- ファックス：0740（25）8101

【お知らせ】

報道関係者各位

令和7年7月17日
中部方面総監部

あいば野演習場において着弾不明となった155mmりゅう弾について

令和7年2月3日（月）、陸上自衛隊中部方面特科連隊第3大隊（日本原駐屯地）が、あいば野演習場（滋賀県）において155mmりゅう弾砲FH70の射撃訓練を実施中に1発の着弾が確認できない事象が発生したことについて、捜索の結果、目標設置区域から西に約2km離れた同演習場内で発見（別紙参照）した金属片の形状及び寸法が当該不明弾と同型の弾薬と類似していることや同金属片の発見場所等を踏まえ、同金属片が当該不明弾の破片であると特定しました。

なお、当該不明弾は、既に同演習場内に着弾して破裂し、その破片は演習場内に飛散していると考えられることから、同演習場外に危険が及ぶことはありません。

（問い合わせ先）

中部方面総監部総務部広報室 担当：酒本、重川

TEL：072-782-0001 内線2314

金属片発見場所

